

はな 華

2020年9月15日 第64号

発行：社会福祉法人 三幸福祉 特別養護老人ホーム 清華苑

発行責任者：総施設長 池田昌弘 編集：広報室（村上卓也、竹本菜名）

〒674-0051 明石市大久保町大窪 3104 番1 TEL 078-934-0800 FAX 078-934-0830 <https://seikaen.jp>

NO.64



PHOTO:2020/7/14 オンライン面会をご利用されて和やかな表情をされる入居者のK様。笑顔がとっても素敵でした。

介護職員から生活相談員になつて想うこと

VOICE

介護、看護、相談員、調理、事務、
それぞれの部署で働くスタッフの
生の声をご紹介します。

生活相談員 竹本栞名

なさい」と挨拶を交わすこと、「気を付けて帰つてね」とお気遣いの声を掛けて下さること。小さなお年の方に思うかも知れないですが、元気や優しい気持ちになり、話すという事の温かさを改めて感じます。

私は、昨年四月に入職し、特別養護老人ホーム清華苑で約一年半介護員としてご利用者の皆様と過ごし、今年七月より生活相談員として新たな一步を踏み出しております。

介護では、「ご利用者から教わる事、学ぶ事が多くあります。

入社して四ヶ月経った頃、その日は土砂降りの雨で荒天の中、いつものようにご利用者とコミュニケーションをとっていると、「雨が降っているのが見えない」と窓を見つめておられた為、咄嗟に私は、身振り手振りで雨の激しい降り方や、風で雨が流れながら降っている様子をご利用者に伝えました。すると普段笑う様子が少ないご利用者が私の動きを見て、笑顔になられました。悪天候な時程、なかなか気持ちも暗くなってしまいそうなることもあります。そんな気持ちを吹き飛ばし、心の中が暖かく嬉しい気持ちでいっぱいでした。

笑顔って素敵。改めてそう思うことが出来たのは、私に向けて下さったご利用者の笑顔のおかげです。

笑顔だけで無く、言葉にも元気を与える力があると思います。「おはようございます」「おやすみ

またご利用者と日々過ごす中で、それぞれ大切な思いや気持ちを知る機会も多くあります。例えばご家族や、仕事、家庭のこと等それぞれ大切な思いがあり、沢山のお話を聞くと、自分に置き換える事もありました。人生の先輩であるご利用者のお話はとても貴重です。

生活相談員になった今、介護に携わる形が一変し、ご利用者と直接関わる機会は少なくなりました。これからは、介護現場とは違った角度から、ご利用者を支援していく事となります。まだまだ未熟ですが、介護現場で学んだ知識や技術を活かし、ご利用者一人一人が清華苑に来て良かったと思つて頂けるよう、沢山の笑顔の花が咲き誇るよう支援を行つていきたいです。私自身の今ある環境に感謝し、精一杯自分に出来る事を行つていこうと思っています。

私は、人と出会うことや繋がりについて、「今の自分に必要だから出会うべくして起きている事なんだ」と思っています。自分にとってだけではなく、自分が関わることでその方の何かしらのきっかけになれのような存在になりたいです。

今年は新型コロナウイルスの影響で、何かと制限が増える生活となっています。そのような状況の中でも、身近にある幸せや人との繋がり、「ご縁」を大切に、新型コロナウイルスの収束を願いながら過ごしていくたらと思います。



SEIKAEN TOPICS

清華苑の最近の出来事などを
ピックアップしてお知らせします☆



新型コロナウイルス感染症対策のため、八月一日より、兵庫県の指導に基づき、外部からのウイルス侵入を防ぐため、再度の面会禁止となりご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

職員一同が福祉従事者であることを業務中はもちろん、業務外でも自覚した生活を送り、ご利用者への感染を防ぐため日夜、施設内の換気や消毒、スタッフ・ご利用者の健康チェックなど感染防止対策を厳重に徹底した上でサービス提供を実施していきます。引き続きオンライン面会（ビデオ通話、お写真の送信）などのサービスをしておりますので、是非ご利用下さい。

令和二年八月三日に家族会様より一部ご寄付を頂き購入しました福祉車両トヨタ・シエンタの贈呈式を特養正面玄関前で実施いたしました。

清華苑家族会 松下会長より総施設長に対して贈呈書の授与が行われました。この車両は、車いす乗降が出来るスロープ車両となっておりまして、家族会会員の皆さまが無料で自由に使って頂くためのものになります（ガソリン代は自費）。

一日も早く、コロナが終息し、ご家族の皆さまとシエンタに乗って外出出来る日を楽しみにしております。家族会の皆さま本当に有り難うございました。

大切に使用させていただきます。

（副施設長 岩西太一）



医務室 だより



（看護主任 大島さおり）

最期まで口から食べる喜びを支えられるケアと工夫を届けられるよう日々精進していき、そして「おいしい！」と笑顔になつて下さると私達も嬉しく思います。

厳しい暑さとコロナウイルスとの共存生活で日常生活が様変わりしている世の中で、自宅で過ごす時間が多いため、おうちご飯や時短料理など、食に関する情報が多いことに気がつきま

しかし、高齢になると嚥下機能が低下し誤嚥や窒息などの危険が高くなり経口摂取が難しくなります。

そんな時、トロミをつけたり、おかずを刻んだり、ミキサー状にしたりと嚥下状態にあった形態へ変更していきます。

（看護主任 大島さおり）

どんなときでも、今日のご飯はなにかなあと楽しみであり、食べておいしい、幸せだなあと感じて頂けたら思

うございます。

そして介助者は嚥下困難な方でも無理なく食べて頂けるようにスプーンテクニックを学んでいます。それでも更に嚥下機能が低下し、看取りの状態となつたときは、食べられるときに好む物を食べられる分だけ食べ、味わっております。

また、食事前の口の体操、嚥下体操から始まり、食事姿勢は良肢位を保っているか、義歯は合っているか、スプーンやお箸、自助具は合っているか、明るく落ち着いた環境であるかなど、一人一人の状態を確認、把握し対応することで安心・安全に食べて頂いております。



介護支援専門員

前川 真弓

マエカワ

マユミ

趣味 美味しい物を食べること
特技 料理(お酒のおつまみです)
オフタイム 飼い猫とたわむれています



【ひとこと】

介護の現場から離れ、違った角度からご利用者と接する事になりましたが、ケアマネとしてご利用者の代弁者になり、ここでの生活を快適に過ごして頂けるよう、現場の声を沢山拾い、今までの経験を活かしていきたいです。

各部署に所属しているスタッフを
ご紹介します！

HELLO STAFF

【ご利用者との関わり】

介護員をしていた時、認知症のある方もない方も同じ空間で生活するのはとても難しいと日々感じていました。まずは認知症のある方の理解と知識を身につけたいと思い、勉強しましたが、まだまだ足りないと感じています。勉強だけではなく、ご利用者の方にも毎日たくさんの方を教えてもらっていました。今までも人生の先輩としても、自分の糧にさせて頂いています。これからも時間を見つけて、沢山のご利用者と今までより幅広く関わっていきたいと思っています。



看護師

西村 宙子

ニシムラ

ミチコ

趣味 スポーツ観戦(ラグビー、野球等)

特技 クラシックバレエ

オフタイム ランチ



【ひとこと】

自分に与えられた仕事を確実にこなし今の自分に出来る事を精一杯しようと思っています。また、他職種の方から教わることも多いので、自分の物に出来るようにと思っています。

【わたしのポリシー】

ご利用者の生活の1日1日を大切に関われるようと考えています。
ほんの小さな事でも笑えるように笑顔で接するようにと思っています。

【わたしのオフタイム】

ラグビーの観戦が大好きです。野球やサッカーと違って、まだマイナーなスポーツですが、すごく熱くなります。一緒に観戦してくれる方がいましたら、ぜひ声を掛けて下さい。

清華苑では、ホームページの他にフェイスブック、インスタグラム、ツイッター、ユーチューブなどのSNSを活用して情報を発信しています。ご利用者の日常や施設でのイベントなど更新していますので是非ご覧下さい！

SEIKAEN
SNS



フォロー＆いいね！
ぜひお願いします。



満足と不満は紙一重

新型コロナウイルス禍の中、様々なスポーツが影響を受けています。数あるスポーツの中でも特に野球は常にその動向が注目されているようになります。そして、高校球児を取り巻く甲子園大会の在り方は関係者それが色々な思いを抱いたことと思います。

さて、野球と言えば様々な数字に選手もファンも一喜一憂します。ピッチャーナラ勝数や防御率、バッターならホームラン数や打率でどうか。今回も打率に目を向けていと思います。

プロ野球の世界では打率が3割なら一流選手、2割8分は二流選手と言われています。では、1年間で3割バッターと2割8分バッターのヒットの差は何本あると思いますか？

仮説とは「言え失礼ながら、もしかしたらプロの選手でも400回も打席があれば、つい気を抜いてしまったり、途中で諦めてしまった打席は何度かあつたかもしれません」。

ただ漠然と2割8分を3割に上げようと考えるのではなく、「あと8本ヒットを増やす」というように何が足りないか（課題）を明確にして、そこでやるべきこと（解決方法）が具体的になってしまいます。

私たちの介護サービスに置き換えた場合、サービスの結果は「利用者の満足度」と言えます。そして満足度の差は「紙一重」の積み重ねです。少し気が抜けてしまつた・・・このようなことが積み重なると結果的に不満につながり、築いてきた信用を失いかねません。

私たちも介護のプロである以上、常に一流を目指し、そして一流で在り続けるように努めていきたいです。

（総務部長 田村智之）

コロナ禍ですが、
特別養護老人ホーム 清華苑では
毎日たくさんの方の笑顔が咲いています！

画像掲載許可のご利用者の方のみ掲載させて顶いております



C Mの話なので知っている方もいると思いますが、

山田孝之と広瀬アリスが仕事の先輩と後輩という設定で二人の心の声が流れるのを見て、私なりに仕事のことについて考えさせられました。

広瀬アリス演じる後輩が仕事のミスをして「すみません」と謝って心の声で「やってしまった、申し訳ない」と思う。山田孝之演じる先輩は後輩のミスをなんとかしようと「任せて」と言いつつも心の声で「はあ、大変だな」と思う。最後に二人とも声に出さずとも「もっと頑張るぞ」前向きに働いていく物語になっています。

多分今までそのようなC Mがあったのかもせませんが、不思議と考えさせられました。自分がミスすることもたくさんあって、先輩後輩関わらず皆さんに支えられています。また、後輩のミスに何とかしようとする自分もいます。副施設長がいつも言って改善していくのかを考え、行動していくことが大事だ」という言葉を心にとめていますが、C Mを見るとき声に出さなくてもそれそれが「次はミスしないぞ」「やってやるぞ」という気持ちを持つエネルギーが大切なんだと改めて感じました。

最近は以前にも増して家で過ごす時間が増え、アーメや漫画で暇をつぶすことが多くなりました。その中

で、私がハマる作品の共通点が見つかりました。それは、「登場人物に共感できること」です。登場人物に共感する、というのは、「自分も同じ行動をするだろうな」というものだけでなく、「この人物ならこう行動するだろうとわかる」というものがあります。

自分だったら絶対にしないような行動でも、その人物の心情や信念、そこに至った背景が丁寧に描写されれば、行動には理由が伴い、感情移入しながら物語を追うことができます。逆に、人物の掘り下げが不十分なままに、自分の考え方と異なる行動を繰り返されると、共感がもてず、イライラがつのります。

共感、というのは、介護に置いても大切な要素だと考えます。ご利用者が思いもよらない行動をとると、理解できず、ストレスを感じる元となります。ご利用者がどのように生活を送って来て、どの様な考え方をしているか理解するよう努め、共感をもつて接する事ができるよう心がけていきたいと思います。

（介護員 戸野祐希）

朝礼 今日のひとことコーナー

令和2年5月～令和2年8月抜粋



（介護チーフ 池内玲夫）

締めとしては少し話が変わりますが、「コロナの影響で人と接する機会が少なくて、刺激や学びの物足りなさを感じますが、こういう時

だからこそ「相手を思いやり、助け合うこと」を大切にしたいです。

（介護員 中里桃子）

締めとしては少し話が変わりますが、「コロナの影響で人と接する機会が少なくて、刺激や学びの物足りなさを感じますが、こういう時だからこそ「相手を思いやり、助け合うこと」を大切にしたいです。

（介護員 戸野祐希）

先日、一番上の姉のところに行つてきました。姉とは八歳離れており、小さい頃に母を亡くしてからは姉が母のような存在です。そんな姉ですが現在は三人の男の子の母で毎日子育てに励んでいます。私がオムツを履いていたころも、高校で部活をしていたころも、たくさんお世話をしてくれていた姉になにか恩返しがしたいとずっと思つており最近疲れている姉に四日分の夕食を作りに行ってきました。子供のころは何もできず姉に頼りつきりでしたが、大人になった今、少しずつ恩返しができたらと思います。その為に、花嫁修業もかねて料理の腕を磨きたいと思います。何かおすすめのレシピや、とびっきり安いお野菜やお肉があるスーパーを存じであればぜひ教えて下さい。

（介護員 橋爪涼）

七月より生活相談員をさせて頂き、今回より広報誌の担当となりました竹本です。

例年夏の行事の一つである納涼祭が、新型コロナウィルスの影響で中止となり、感染予防対策として面会制限が続いております。

ご利用者の日常生活の様子など紙面を通してお伝えできたらと思い、今回の「はな華」ではご利用者の素敵なお写真をたくさん掲載させて頂きました。

まだまだ大変な状況が続きますが、新型コロナウィルスの収束を願うと共に、感染防止対策の徹底を図り、皆様が安心してお過ごし頂けるよう頑張りますので宜しくお願い致します。

（介護員 中里桃子）

（生活相談員 竹本栄名）